民報藤島

2019年2月3日

第1186号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉱一（宝徳）
TEL0235-64-3941
携帯090-8929-4221
ＨＰは「藤島 加藤鉱一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月２００円程度）
1月 16人 56,200円
12月 54人 61,483円

慶応先端研の外部評価
県「第4期最終報告書」を公表

県は慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究教育活動に関し、外部有識者等による評価等を実施し、「第4期最終評価報告書」（平成26年度から平成30年度まで）を1月24日公表しました。

評価会議では、研究所から提出された報告書等に基づき、検証と評価を行ったものです。

評価結果はＡ：非常に優れている

評価結果は、①研究の成果、②事業化、③人材育成、④産学連携、⑤地域貢献のいずれの分野でも最高の評価Ａとなり、⑥今後の研究方向では、評価Ｂの「優れた成果が期待される」とされ、総合評価は「Ａ：非常に優れた取組が進められている」となりました。

所長の強いリーダーシップ

総合評価では、「所長の強いリーダーシップ」「産学連携」「メタボローム解析技術を活用した各種疾患バイオマーカーの探索・評価試験」「新たなベンチャー企業の創出と事業化」「県内企業等との共同研究」「５００人に及ぶ新たな雇用の創出」などの他、「国際学会」「高校生バイオサミット」などが高く評価されています。

地域への波及効果では、「6社のバイオベンチャー企業の設立」「県内企業等との共同研究」「がんの診断や治療に関する研究」「サイエンスパークの整備」「ヤマガタデザイン(株)のスイデンテラスやキッズドーム」などが評価されています。

市が「経済波及効果」の分析を委託

さらに、鶴岡市では(株)山形銀行に「地域経済波及効果の分析」を委託し、その調査結果概要も公表されています。

人口面での効果として、サイエンスパーク関連雇用者数は２０１７年度で４０７人、うち市内在住者が３３２人（18年12月直近では４６５人、うち市内在住者３７８人）、交流人口は年間３０６０人、研究者等の高度な専門人材が比較的多く集積していること。

43億円から波及効果30億円

経済波及効果は、サイエンスパークで生まれる消費・投資需要の年間43億円から、市内各産業に新たな生産を誘発する額を産業連関分析により推計し、30億７７００万円と見込みました。

さらに、税収効果は８２００万円と推計しました。

10年後には2倍超

サイエンスパークの今後の展望では、現状は「発達段階」にあり、バイオクラスターとして「成熟段階」に移行していく過程において、経済波及効果は5年後には1・6倍の48億円、10年後には2・1倍の65億円になると推計しています。

その根拠として、日本経済再生本部の「日本再興戦略」(H25)で、国民の「健康寿命の延伸」での市場規模の想定を、10年ごとに1・5倍程度を見込んでいるとしています。

現実の統計数値には表れず

外部評価は、研究所提出の資料と計算上の数値によるもので、現実の統計数値とは異なります。

鶴岡市は人口減少が大きく、特に20代の流出が30％前後と高く、30代で若干の流入があるものの、流出超過を取り戻せていません。

経済的豊かさでは、1人当たり市町村民所得は酒田市や県平均より低く、三川町から平成23年度以降追い越され、経済波及効果は見えません。

合併効果なき後は

旧鶴岡市単独では不可能な補助金3億5千万円を支出するため、強引に市町村合併を進めました。

しかし合併の財政効果は平成27年度で終わり、交付税が段階的に縮減され、30年度では9億3千万円も減らされています。

平成33年度から本来の一本算定になり、国の肩代わりになって3億5千万円を支出する余裕はなくなります。

節分

二月北風吹故衣
路頭残雪傍人飛
節分肯問遅兼早
冬度碧空白鳥帰

城貞（藤の花）

二月　北風　故衣を吹き
路頭　残雪　人に傍いて飛ぶ
節分　肯て問う遅き兼　早きとを
冬　度りて碧空　白鳥　帰る

二月となり、間もなく立春をむかえると言うのに、冷たい北風が、私の普段着に吹き付け、道端の残雪が私のそばを飛び過ぎる。

二月三日は、季節の変わる立春の前の日とわかっていながら、春が来るのが遅いか早いかを尋ねてしまう。

やがて、冬が過ぎ青空となり、白鳥が北に向かって帰るのだ。

節分＝季節の変わる前日。立春、立夏、立秋、立冬の前の日、とくに立春の前の日。陽暦で二月三日、四日ごろ。**北風**＝寒い風。**故衣**＝ふだん着ている衣。**路頭**＝道ばた。**傍人**＝人に寄り添うように。**肯問**＝わかっていながら尋ねる。**冬度**＝冬がわたり、過ぎてゆくこと。**碧空**＝青空。

第2回 うたごえ喫茶 inぽっぽの湯

2月9日(土)14:00〜15:30
長沼温泉ぽっぽの湯
出演：ぱっちわーく
入場料：300円(コーヒー1杯付)

主催：長沼温泉ぽっぽの湯　64-4126

要介護認定で障害者控除

介護保険で要介護1以上の認定を受けている高齢者や家族の税負担を軽くする制度があります。

鶴岡市が発行する「障害者控除対象者認定書」です。

認定書で確定申告を行うと、障害者控除が適用され、所得税と住民税の負担が軽減されます。

住民税が課税から非課税になると介護保険料も下がります。

障害者控除は納税者本人だけでなく、扶養している親族も受けられます。

市役所の長寿介護課か、各庁舎市民福祉課に介護保険証を持参し、申請書に記入して申請すると、認定書が後日郵送されます。

	所得税の控除額	住民税の控除額
一般の障害者	２７万円	２６万円
特別障害者	４０万円	３０万円
同居の扶養親族が特別障害者	７５万円	５３万円

だまされては遺憾！

「逆コース」の日本と下山・三鷹・松川の謀略事件③

政府談話鵜呑み反省　松川被告無罪運動に半生を懸けた作家・広津和郎

青山 崇

「筆者（広津）なども迂闊に増田官房長官の談話を信じ、それを思想的犯罪と思い込まされたものであった。それには6月半ば以来の列車妨害の新聞報道や、下山、三鷹と続いた事件についての宣伝が、いつかわれわれの心に、増田官房長官の談話をそのまま鵜呑みにさせる下地を作っていたのである。筆者と同じように、国鉄労働組合や共産党は、なんというあさはかなことをするものだと当時眉をひそめた国民も少なくなかったことであろうと思う。」と広津は述懐し、被告たちが獄中から出した15万通に及ぶ手紙をもとに編集した『真実は壁を透して』（1951年刊）を読んで、「総ての文章は、決して嘘や偽りでは書けない文章であるという事が先ず私を打ったのである」と記している。

私は学生の頃、保釈中であった二階堂園子さんの真実の話を聞いた。

今なお印象に残っていることは、「取調べの隣の部屋にいる母が、〝園子やったと言え、そうすればここからすぐ出してやると言っているのだから〟と言わせられている母の涙声を聞かせるのです」という話しである。

1審（1950年）・2審（1953年）とも死刑を含む有罪判決を聞き、1958年（昭和33年）、67歳で松川事件対策協議会の会長となり、1963年（昭和38年）最終判決で被告全員の無罪が確定した。しかし反共産の風潮は消えずに沈殿した。

広津和郎『松川事件のうちそと』1959年・光書房

きびちょ

これもデタラメだ！

あなたの集落にも統計調査員という人がいて、調査票に書くようにお願いして行ったり、書いた物を確認に来たりしているでしょう。このような仕事を長年続けた功績で、国から勲章を貰うのが新聞などで報道されますネ。

▲だから、統計というものは国として大変大事なものなのですが、特に大事な統計を「基幹統計」としているんだ。国の進むべき道を間違わないように少しの変化も見逃さないようにと。今問題になっている統計は、500人以上の雇用がある会社を毎月悉皆（しっかい）（もれなく）で調べることに法律で決まっているんだ。

▲これが意図的に操作されたんではないかと、観察委員会がつくられた。そんなことはなかったと早々に報告されたが、なぜそんなに早いんだと聞くと、そういう指示だったとのこと。これまた、行政の働き掛けがあったんだ。

▲しかし、こんな大事な仕事の方向を変えることを、一事務屋が考えて出来る事ではあるまいヨ。事務屋は考えなくても良いことだから。マ・改めて調査をすることになったが。

▲問題なのは、基幹と言われるだけあって、これの不正で国民に746億円というお金を国は払わなければならないんだ。これを支払うための費用が195億円いるというんだ。そのために来年度予算の閣議決定をやり直したんだぜ。その足りないお金は国債なんだとヨ。つまり借金だぜ。

▲しかし、いつまでに国民に渡せるのか分からないときてる。景気が良くなったと言うアベノミクスも、ここからでたもの。（石川）